

作成年月日	平成 30 年 7 月 11 日
作成部局	関西広域連合広域防災局

梅雨前線の影響に伴う大雨による被害等について（第 6 報）

平成 30 年 7 月 11 日 13 時取りまとめ

1 被害状況等

第 5 報で既報

2 関西広域連合の対応

(1) 広域防災局の体制

5日 7:40 対策準備室（室長：広域防災局長）設置

6日 19:40 災害警戒本部（本部長：広域防災局長）設置

8日 先遣隊を派遣

岡山県へ鳥取県職員 2 名

愛媛県へ徳島県職員 2 名

9日 9:00 災害対策支援本部（本部長：広域連合長）設置

先遣隊を派遣

高知県へ徳島県職員 2 名

災害マネジメント総括支援員を派遣

広島県呉市へ兵庫県職員 2 名

愛媛県宇和島市へ徳島県職員 3 名

16:00 災害対策支援調整会議開催

構成団体が有する資源等を有効活用し、迅速で効果的かつ継続的な対応を行うため、「カウンターパート方式」による支援を実施することを決定

被災県	応援団体
岡山県	兵庫県、鳥取県
広島県	滋賀県、大阪府、和歌山県
愛媛県	奈良県、徳島県

10日 連絡員を派遣

岡山県へ兵庫県職員 2 名

12日 16:30 岡山県市町村に向けた「被災者支援システムの取り扱い説明会」を開催
(西宮市より担当職員を派遣)